

## 〇〇県 航空関連産業分野における地域産業クラスター計画（記載例）

## 1. 地域産業クラスターの形成を目指す産業領域：〇〇製品を核とする航空産業領域

## (1) 該当する業種 ※ () 内は産業中分類ベースで記載

航空機・同部分品製造業（輸送用機械器具製造業）、金属素形材・鍛造・熱処理（非鉄金属製造業）

## (2) 特定の理由

〇〇県には、予てより、複数の大都市圏への近接性や、安定した工業用水の供給といった立地条件を活かして、主翼製品の国内シェアの過半数を占める〇〇の〇〇工場等を核として、航空向け精密加工に強みを持つ企業が約〇社集積している。航空関連工業品出荷額は約〇〇億円/年、約〇万人規模の雇用を創出している。〇〇市を中心に、〇〇等の難製造材に対応出来るよう品質基盤が整備され、〇〇を中心としたTier2及びTier3企業が国際サプライチェーンを支えている。

航空産業領域における世界市場は、新型コロナウイルス感染拡大後の回復と電子制御部品の機体構成比率増の潮流で、軽量化・高効率化部材の需要が年率〇～〇%成長する見通しである。そうした中で、〇〇県は多様な金属加工能力や、空港・港湾・高速IC・貨物駅の近接性を強みとして活かせる。

加えて、総額〇〇億円（〇年間）の投資で、MRO（航空機整備・修理事業）増強、設計～試作～試験～量産の反復期間▲〇%を実現。自動化・3D造形機材・高精度測定を導入し、自動化率〇→〇%、不良率▲〇%、コスト▲〇%、製造リードタイム▲〇%を目標化。高付加価値製品の受注比率を〇→〇%へ引上げ、海外OEM（他社ブランドの製品を製造する企業やその製造形態を指す）との共同開発年〇件、国際認証年〇件の取得を目指している。

世界市場における需要の拡大、地場の生産能力・投資の動向がいずれも拡大傾向であり、成長シナリオの実現性が高いことが、当該領域を特定する最大の理由である。

## 2. 地域産業クラスターの形成を目指す区域

## (1) 特にクラスター形成の核となる区域

〇〇市、〇〇市、〇〇市、及びこれらの市をつなぐ国道〇号線、〇号線の沿線地域

## (2) 計画推進の核となる企業

株式会社〇〇、△△製作所、・・・

各社は航空関連工業品の製造工程における上流（部品製造）から下流（完成工程）という一連のサプライチェーンにおいて主要な事業者であるとともに、創業以来50年以上にわたり航空業界をけん引するトップランナーであり、製造体制、財務体制ともに十分な水準である。なお、いずれも過去5年にわたり増収増益を達成している。

### (3) 特定の理由

〇〇市、〇〇市には、航空機関連産業の企業が複数立地しており一定の産業集積が見られることから、更なる産業集積が見込まれる地域として特定した。

〇〇市は、本県が新たに航空機関連産業向けの工業団地の造成を進めており、今後の産業集積の形成が見込まれる地域として特定した。

その周辺地域としてその他の地域を特定しているが、当区域は、①設計～試作～量産～検査の主要機能が30分圏で連結でき、反復速度の最大化が可能である。また、②空港・港湾・高速IC・貨物駅が近接し、大型部材輸送と国際物流の効率性が高い。加えて、③工業系用途地域で振動・騒音・危険物の規制適合が取りやすく、大型設備の設置要件を満たしやすいだけでなく、④既存工場の延床+〇%の増築余地と段階的投資の設計が可能で、⑤教育・試験機関が集積し年〇人規模の人材供給・リスクリングができる環境にあると考えられる。

## 3. 当該分野の現状認識と目指す姿【目標】

### (1) 現状の整理

〇〇県は、航空機・同附属品製造業や航空機用原動機製造業の中堅企業が集積し、県内には〇〇をはじめとする部品加工、精密機械、MRO関連企業が多数立地している。2023年の工業品出荷額規模は〇〇億円で、民間機向け部材の外注比率の増加を背景に、安定した受注基盤を維持している。

一方で、自動化投資の遅れやMRO高付加価値化への対応など課題も残り、雇用数の増加が求められている。

### (2) 目指すべき目標

区域内の航空機・同附属品製造業および航空機用原動機製造業における工業品出荷額について、現行〇〇億円(2023年度)を、5年後の2031年までに〇〇億円へ+〇%増加させる。

区域内の付加価値創出額について、現行比で+〇~〇%の増加(工業品出荷額増と工程自動化・MRO高付加価値化による改善を反映)を目指す。

区域内の雇用者数・給与総額について、現在から2031年までに+〇~〇%の増加(MRO増強等に伴う人材需要の顕在化を反映)。

本計画における官民設備投資額は、10年後の2036年までに〇〇億円を目指す。

本計画における産業人材育成数(P)は、10年後の2036年までに〇〇万人を目指す。

### (3) 設定の根拠

今後想定される新規・増設投資(例:〇〇市のMRO能力増強(月産〇→〇台)等)と工程自動化投資を合算し、案件数×1件当たり創出額で積上げた。1件当たりの創出額は、〇〇の工場拡張(作業エリア〇割拡張、月産を将来的に〇台へ)等の公開実績や、国際貨物の増勢(2024年〇〇t)がもたらす輸出入・保税加工の波及を基に試算した。

#### (4) 効果検証

本プランで掲げた目標について、毎年度フォローアップを実施し、国からの求めに応じて結果を報告する。(工業品出荷額・付加価値・雇用・認証保有・MRO 処理台数・空港貨物等の KPI を年度把握)

### 4. 勝ち筋の特定と投資の具体像、定量的なインパクト【道筋】

#### (1) 基本戦略：当該産業領域における勝ち筋・〇〇県に構築すべき機能

勝ち筋：①成長領域分野の製品開発の集中(現在、世界で唯一先端技術の社会実装に成功した〇〇の「〇〇(特許取得済み)」をはじめとする、主翼関連製品等)、②工程 DX(自動化〇→〇%、不良▲〇%、製造リードタイム▲〇%等)

重点〇社の能力・設備・認証のギャップを可視化し、上流参画を拡大することで、大型案件年〇件の安定獲得を実現する。

#### (2) 投資の具体像

10年総額〇億円(官〇億円、民〇億円)。

官：技能訓練設備等。

民：金属 3D 造形機材〇台、自動化装置〇基、高精度 CMM(物体の幾何学的座標を測定する高精度装置)〇台。

フェーズ更新で段階投資し、国際認証年〇件、共同開発年〇件、海外拠点とのデータ連携(品質/工程)を進める。

#### (3) 地域へのインパクト、目指すべき姿

「主翼-エンジン-MRO-一貫加工-空港貨物-飛行実証」が 90 分圏で閉じる世界有数の“超近接”航空クラスターを確立する。

〇〇市の〇〇の主翼製造ラインは、自動穴あけ等の高度化によりタクトを短縮、機体・装備の量産力と技能継承を担う。

〇〇市は月産〇→〇台へと拡張するエンジン MRO のハブとして、非破壊検査等の特殊工程を周辺クラスターと束ね、部品再生・再使用の循環経済に資する。

〇〇市は国際貨物(2024年〇〇t)の回復基調を追い風に海空連携(Sea&Air)や保税一貫を磨き、完成主翼・前胴・エンジンの国際輸送を最適化。

〇〇市(県営〇〇空港)隣接の〇〇県飛行研究センター×JAXA 拠点では、飛行実証-量産-MRO までの一貫設計を推進する。

これらを〇〇の伴走・認証・販路で横串し、国内シェア(約〇〇%)の維持・拡大と国際プログラムへの不可欠性を同時達成する。

### 5. 投資促進に向けた課題と事業環境整備の取組【政策手段】

#### (1) 投資促進に向けた課題

〇〇県の航空産業は、〇〇をはじめとする中核企業が一定の生産機能を有する一方、企業間連携や事業拡大に向けた経営基盤が脆弱で、体系的な伴走支援が不足している。特に中小企業では、経営計画策定や海外展開に対応できる専門人材が乏しく、高度化する国際認証・安全基準への対応、特定国との取引拡大などについて外部支援の活用が十分ではない。また、設備更新に数億～十数億円を要する機械投資や工程自動化は、収益変動が大きい航空分野では着手が遅れ、競争力強化に必要な大型投資が進みにくい。

人材面では、製造・品質保証・MR0の各領域で階層別の育成体系が整っておらず、〇〇の製造人材講座や県内大学との教育連携が断続的で、企業横断のスキル標準につながっていない。整備士・検査員の資格取得支援や、非破壊検査など特殊工程に対応するOJT・座学の場合が不足している点も課題である。

インフラ面では、〇〇貨物地区の機能高度化や、〇〇港・〇〇空港周辺の産業用地確保が遅れ、Sea&Air連携によるリードタイム短縮が十分に実現できていない。

さらに、空港-工業団地-都市部のアクセス、社宅・寮・託児の整備が追いつかず、人材確保力を弱めている。外国人材についても、生活相談や日本語教育の仕組みが限定的で、受入環境の強化が求められている。

## (2) 講じるべき政策パッケージ

(別紙)に記載するクラスター形成の中核となる企業に対して、地域未来交付金を活用し、伴走支援体制を構築する。具体的には、商工会・商工会議所と連携して年に2回程度の御用聞き訪問を実施し、更なる事業展開に向けた経営計画策定支援を実施するほか、特定国への海外展開など高度な経営課題については、必要な国の支援機関の活用を斡旋するほか、外部専門家の活用に対して支援を行う。また、特に本県における産業クラスター形成に向けて重要な投資については、国の予算も活用しながら、設備投資補助を実施する。

また、製造・品質・MR0の人材を階層別に体系化する。〇〇の製造人材育成講座(オンデマンドで延べ〇人視聴/年度)やセミナー、若手向け基礎講座を拡充し、企業横断のスキル標準に接続する。〇〇大学・〇〇大学等と連携し、高校・大学生向け設計演習、県営〇〇空港等を活用した職業理解プログラムを定常化。MR0拡張に合わせて整備士・検査資格者のリスクリング枠を設け、非破壊検査等の特殊工程のOJT+座学をセット提供する。

加えて、〇〇貨物地区の機能高度化と、〇〇港・〇〇空港周辺の産業用地を確保し、海空連携(Sea&Air)のリードタイム短縮を図る。

また、空港-工業団地-都市部の通勤アクセス改善、社宅・寮・託児の整備を促進。技能実習・特定技能人材の生活相談・日本語教育を産学官で支援する。

## (3) KPI 及び KPI 未達時の撤退基準の設定

KGI 達成に向けた政策手段の進捗状況を確認するため、以下の通り KPI を設定する。

・

・

・

また、〇年頃に・・・が未達の場合には事業の計画の中断も含め、計画の再考・見直しを行うこととする。